

高梁市議会だより

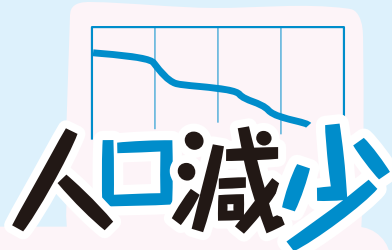
第47号
2021年8月



人口減少率 9.3%にどう対抗するか
一般質問が熱い！

陳情第1号「選択的夫婦別姓制度」市議会の対応は？

人口減少率 9.3%に どう対抗するか



国勢調査は、日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした重要な統計調査です。国勢調査で調べた人口は、地方交付税の算出や過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法、地方税法などに影響を与えます。令和2年（2020年）調査の速報値が6月に発表されました。

6月定例会では、発表された速報値に基づいて、市の政策について多くの議員が質問しました。ここでは、人口減少対策についての質疑をまとめました。

大きく減った要因は？

社会動態が前回調査では272人のマイナスだったが、今回は925人のマイナスとなり、これが大きく響いている。約4割が大学生の減少。人口の中で学生の占める割合が多く、影響が大きい。

地方交付税への影響は？

交付税算定は7月に行われるため、現時点（6月）では未確定だが、影響は避けられない。ただ、補正係数や段階補正という仕組みもあるので、人口の変更がそのまま反映されるわけではないため、人口減少ほどの落ち込みはないと推測している。

令和2年国勢調査速報値

人 口	29,101 人
男 性	14,222 人
女 性	14,879 人
2015 年人口	32,075 人
5 年間の人口増減数	-2,974 人
5 年間の人口増減率	-9.27%
面 積	546.99 km ²
人口密度	53.2 人/km ²
世 帯 数	12,889 世帯
2015 年世帯数	13,481 世帯
5 年間の世帯増減数	-592 世帯
5 年間の世帯増減率	-4.39%



新たな雇用への対策は？

農業も非常に重要な観点だと思う。定住につながる儲かる農業のため、トマトやブドウなどを積極的に進めていく準備をしている。

現在、吉備中央町が掲げている※スーパースィティ構想が、高梁市の人口増にも影響してくるだろうと思っている。雇用と住宅の確保について、高梁市、吉備中央町、美咲町の1市2町で事務的な会議が必要だと考えている。

※スーパースィティ構想 AI（人工知能）などを活用する先端的なサービスを導入し、便利で暮らしやすいまちを実現していくもの。

定住対策

定住のための住宅整備は？
 これまでも若者向け住宅の整備を進め、全て入居していただいている。定住につなげるには、持ち家のための分譲宅地などにしっかりと取り組んでいく。

分譲地の予定は？
 成羽町下原の鶴鳴保育園跡に予定している。高梁市の坪単価が高いことはある程度分析ができており、施策を考えていかななくてはならない。



成羽の住宅造成地（鶴鳴保育園跡）

教育振興

高梁市の教育の将来像は？
 今年度から小学校で30人以下学級を導入した。令和2年度から福地小学校は小規模特認校に、令和7年度には有漢に義務教育学校ができる。それぞれ特色を持つ教育を打ち出しているの
 で、保護者にしっかりアピールできると考えている。

空き家対策

空き家の現状は？
 平成27年度から3年間かけて空き家の実態調査を行った。市内には1096棟の空き家があることを把握している。

住める空き家の活用が必要ではないか？
 固定資産税の納付通知に空き家バンクの案内を入れている。ただ、あくまでも空き家は個人の財産なので、行政がどこまで踏み込んでいけるかを考えていかななくてはならない。

企業誘致

企業誘致の状況は？
 最近5年間には新規の立地はなかったが、事業拡張に該当するものは3件あった。誘致を行った際、従業員の確保が難しいといわれる。有効求人倍率が高いものの、欲しい職種が市内に不足しているというミスマッチが起こっている。企業には固定資産税の6年間免除を打ち出していたが、それでは弱いということで、今は吉備中央町と同じ県内最高レベルの支援措置を行っている。



有漢工業団地

一般質問が熱い！

観光課、日本遺産・歴まち推進室の旭町移転



観光課、日本遺産・歴まち推進室が移転した事務所

この移転については、直前にあつた5月の議会議員全員協議会においても、この6月定例会においても説明されていません。また、移転経費に係る補正予算も提案されないまま移転が行われました。

このことについては、複数の議員が一般質問にも取り上げ、執行部に説明を求めました。移転の目

的、移転に至った経緯、それに関わる移転経費、そして将来的な運営経費等様々な切り口で質問がなされました。冷静だけでなく、時として熱のこもった質問と答弁のやり取りは、正に議会基本条例の目的である議会の活動の原則に合致したことです。

「議会は、市民に対し積極的にその有する情報を発信し、説明責任を果たすものとする」とされています。だからこそ、しっかりと議論し、分かりやすく説明できるように、なぜ、どうしてをそのままにはしておけません。

より一層の 市政の見える化を

議員の中に、執行部に対して事前説明が足りない、丁寧な提案が無い、議会軽視ではという声があります。前述したことだけでなく、最近の議題では旧「朝霧温泉ゆ・ら」や消防署移転、高梁国際ホテルの改修などについても同様です。



高梁国際ホテル

6月定例会においては、新型コロナウイルス感染症対策ということ、各質問者の一般質問の発言時間を通常より約10分短縮して30分で行われましたが、各議員が様々な政策課題について質問を行いました。

また、高梁市議会では会派が2つとなり、今までは行われていない会派代表質問の実施も現在検討されているところです。

『市民の負託に応え、豊かな高梁市の実現に寄与する』

(高梁市議会基本条例第1条より)

高梁市議会基本条例

第2条 議会は、市民を代表する議決機関であることを常に自覚し、公正性及び透明性を重視して、市長等執行機関の市政運営状況を監視するものとする。

議会議員全員協議会が開催されました

令和3年5月28日に都市計画道路南町近似線及び下町薬師院線の整備と旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」施設売却について、執行部説明があり、その後に質疑がありました。ここではその概要と主な質疑を紹介します。

都市計画道路の整備

都市計画道路南町近似線及び下町薬師院線は、市街地の形成機能の向上や市内環境化を図るため、昭和44年に都市計画決定されましたが、JR伯備線高梁西踏切の立体交差方式が整備上の課題となっていました。JR西日本との協議で、平面交差方式に変更することとなり、令和2年度に道路幅員や道路線形を見直すための基本設計を行い、都市計画決定の変更案を取りまとめているとの説明がありました。

これに対して議員からは、事業費・事業年度、無電柱化、平面交差にした理由について、計画が変更になることに伴う周辺住民への説明についてなど、多くの質問がありました。

これらの質問に対しては、事業費は推計15億円、令和12年度末完成を見込んでいること、地中化の予定は無いこと、平面交差の方が災害時の避難路として安全であったり、用地が7割程度、補償物件が6割程度少なくなり、通行止めも大幅に短縮でき、事業費を約半分に削減できるとの説明がありました。周辺の住民、特に今回計画の変更で影響が及ぶ住民に対しては、丁寧な説明をするとのことでした。

旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」
1億1348万6600円
売却に

市民の関心度も高いこの施設の売却に関して、株式会社エヌディエスが再び優先交渉権者になったとの報告がありました。

同社が提案する施設の活用方法は、老朽化した温浴施設部分を木質バイオマス発電施設として稼働、地元の野菜や果物、特産品を販売する山の駅、また地元の食材を使用して、観光やスポーツで高梁市を訪れる人々の飲食を提供するレストランを営業、雇用創出の面なども選定に値するとの説明がありました。

議員からは、周辺住民、周辺施設への配慮を危惧する意見、環境汚染を心配する意見、前回の募集要項を何故変更したのか、周辺施設の管理はどうなるのかなどの質問がありました。

質問に対して、立地協定を定める中で、地域住民や環境に配慮した話し合いを進めていく、土地を売却し、経営の中身に対しては関われませんが、買い戻し特約の10年間は担保になる。周辺施設の管理については提案を頂いているので前向きに検討するとの答弁がありました。

ちなみに、6月定例会では、複数の議員から旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」施設売却について質問がありました。一般質問の答弁でも「売却に係る事業としては最後のチャンスだと思っている。」この言葉どおり、紆余曲折を経て、五里霧中ともいえる状態であったこの施設ですが、国の進める持続可能な開発目標SDGsの流れにのって、地域経済の活性化に貢献してもらいたいと思っています。



旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」

選択的夫婦別姓制度 市議会の対応は？



6月定例会では、市内の市民団体から、高梁市議会として選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情がなされました。昨年、国の「第5次男女共同参画基本計画」策定に際して注目され、また、会期中の6月24日には、最高裁判所大法廷の憲法判断が示されたことから、関心が高まっています。

■これまでの高梁市議会の対応

平成22年3月定例会では、選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正に反対する陳情が採択され、高梁市議会として内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、男女共同参画担当の内閣府特命担当大臣、衆議院議長、参議院議長に選択的夫婦別姓に反対する意見書が提出されました。説明の中では、選択的夫婦別姓に対する国民的合意がないこと、伝統的家族の価値観を尊重する国民感情が根強いこと、別姓となれば子どもに大きな影響を与え、我が国の将来に大きな禍根を残してしまうと危惧されること等が理由として挙げられました。

■他の議会の対応

岡山県議会では、令和3年2月定例会で、選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書案について、賛成多数で可決されました。

岡山県内の市町村議会では、県議会と同様の判断を下した議会もあれば、倉敷市議会のように選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書が全会一致で採択された議会もありました。

■高梁市議会は継続審査へ

委員会審査に際して、意見陳述により陳情した団体から詳しくご意見を伺いました。夫婦別姓を認めないのは国際的に日本だけであること、世論調査によれば、これからの社会を担う若い世代ほど選択的夫婦別姓を認めていること等の説明がありました。

委員会審査の中では、まだまだ議論が必要であるとして継続審査となり、本会議でも、継続審査とすることとなりました。今後、所管する市民生活委員会での調査を経て、結論が出されることとなります。

TOPICS

議会ICT化推進特別委員会報告 9月定例会導入に向けて ICT機器の研修会を実施

議会ICT化推進特別委員会では、令和2年6月定例会から、グループウェアによる連絡や議場へのICT機器持ち込みを試行として行ってきました。これを踏まえて、「高梁市議会ICT推進基本計画」や使用基準を策定しましたが、大きな課題として、個々の議員で異なる経験や技能の差を埋め、本会議や委員会です分に活用するにはどうしたらよいかということでした。

このため、タブレット端末の初期設定に際しては、できる限り議員も立ち会い、また、議会運営に係るICT機器の使用に特化した操作について、専門家の指導を受けました。

習うより慣れるの面が大きいとはいえ、全ての議員が議会活動において十分に使いこなせるよう、議員同士助け合い、高め合わなければなりません。



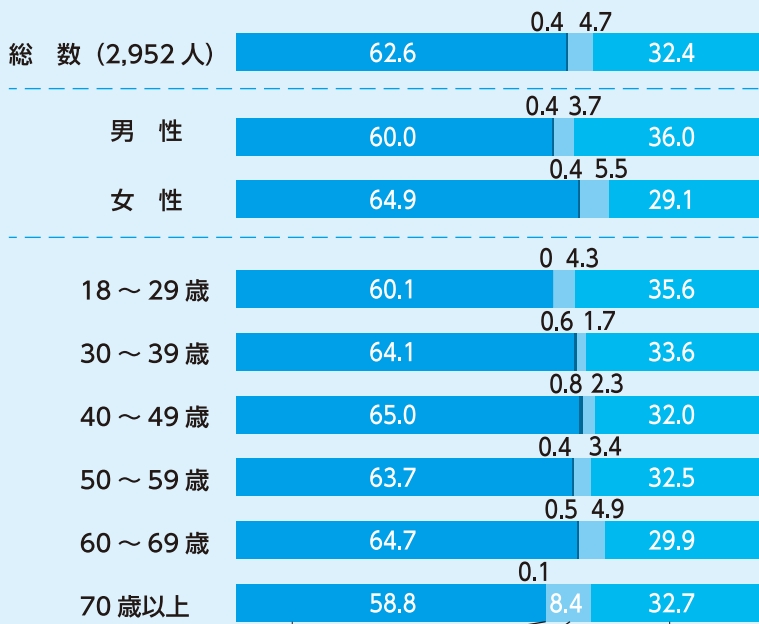
講師を招いた研修



タブレット端末の初期設定



子どもへの影響は？



子どもにとって好ましくない影響があると思う

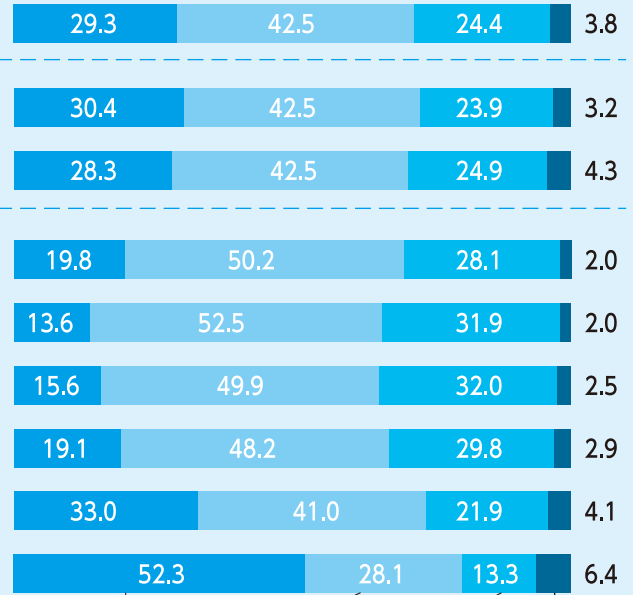
その他

わからない

子どもに影響はないと思う



選択的夫婦別姓制度についてどう思う？



婚姻をする以上、夫婦は必ず同じ名字(姓)を名乗るべきであり、現在の法律を改める必要はない

夫婦が婚姻前の名字(姓)を名乗ることを希望している場合には、夫婦がそれぞれ婚姻前の名字(姓)を名乗ることができるように法律を改めてもかまわない

夫婦が婚姻前の名字(姓)を名乗ることを希望していても、夫婦は必ず同じ名字(姓)を名乗るべきだが、婚姻によって名字(姓)を改めた人が婚姻前の名字(姓)を通称としてどこでも使えるように法律を改めることについてはかまわない

わからない

平成 29 年内閣府の世論調査の結果より



議員団長 石部 誠



事務局長 小柴健男

事務所 高梁市中原町1420
電話／FAX 0866(22)4000

会派を結成するにあたり

もともと団員は、日本共産党の市議会議員として、憲法を生かし、地域や市民の声を議会に生かす活動を行っていました。今後とも安心安全な地域づくり、毎日の暮らしや福祉の増進のために、高梁市に対しても国に対しても物申してまいります。また当会派以外の議員の方々とも協力共同の立場で頑張ります。

会派
日本共産党高梁市議員団
を結成しました

6月定例会が開催されました

6月定例会では、報告5件、議案9件、請願1件、陳情1件を審議しました。

報告は、小中学校ICT化、災害復旧、新型コロナウイルスワクチン接種事業などを、令和2年度から3年度に繰り越すにあたって、その理由や金額に関するものでした。

議案には、市長の専決処分に関して議会の承認を求めるものがありました。ひとり親世帯や低所得世帯への経済支援、事業者の感染症拡大防止対策に関するもので、いずれも国の補助金や交付金がついた時点で速やかに執行するため、議会の議決を経ずに専決処分とされました。議会では必要とする方に支援が十分にいき渡っているのかという観点からの質疑がありました。承認されました。

また、旧「朝霧温泉ゆ・ら」の土地や建物の処分に関

する議案も提案されました。議会、地域住民、周辺施設への十分な説明、木質バイオマス発電施設の環境への影響など様々な観点から質疑がありました。

追加議案では、生活福祉基金貸付制度を利用できなくなった生活困窮者に対する自立支援金給付事業、高梁国際ホテルの修繕費や経営計画策定に関する補助金に関する補正予算が提案されました。

議案については全て原案どおり可決しましたが、請願は不採択、陳情は継続審査となりました。

なお、会期中には議会運営委員会から高梁市議会会議規則について、電磁的記録による議事録の配布、議場への携帯品として携帯端末等の機器の取り扱いに関して改正が提案されました。

また、旧「朝霧温泉ゆ・ら」の土地や建物の処分に関

討 論

今回の議案は報告5件と議案9件である。また請願、陳情について、全て委員長報告を了とし賛成の立場から討論する。ただ、以下の議案については、特に申し述べさせていただく。

請願第1号「75歳以上の医療費窓口負担の『原則1割』の継続を求める請願」について、「2割負担になると、受診をためらい病状が悪化する人が生じる」という懸念がある。令和4年秋の施行後3年間は負担の軽減の措置を講じることではあるが、過度な受診控えが起きいてい

ないか、実態把握に努めるべきと考える。

次に、陳情第1号「選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める陳情」については、先般、最高裁で合憲であるとの決定が出された。今後は国会で審議されるものとの指摘があった。国民の意識も変わりつつあり、委員会が継続審査にされたことは、了とする。

(金尾議員)

今回の議案は報告5件と議案9件であり、全ての議案に賛成の立場であり、委員長報告を了とする。

陳情第1号については委員長報告は継続審査となった。本来ならば採択を求めるべきと考えが、今回は賛成の立場から討論に参加する。

請願第1号は委員会では不採択となった。しかし、市内では非正規雇用が増加し、所得が減少している状況である。

また年金の給付額が切り下げられるのに、介護保険料の引き上げ・利用料金も引き上げられる。そして今回の医療費負担2割への引き上げは、大変である。このうえ医療費負担金が倍になれば大変なことである。施行までに『原則1割』の継続を求める意見書の提出を要望する。

陳情第1号は継続審査となった。しっかりと議会で審査研究されることを求め賛成する。

(石部議員)

6月定例会で賛否が分かれた議案の議決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

件名	金尾	平松	新倉	小柴	伊藤	森	森上	石井	石田	石部	三村	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	大月
請願第1号 「75歳以上の医療費窓口負担の『原則1割』の継続を求める請願」	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	●

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。

一般質問 ここを聞きました!

石部 誠

- ・観光課の市庁舎からの移設について
- ・国保税の引き下げについて
- ・新型コロナウイルス感染症対策について

金尾 恭士

- ・学校教育について
- ・ヤングケアラーについて
- ・成年年齢引き下げについて
- ・一般廃棄物処理基本計画について
- ・定住につながる助成について
- ・地域経済・観光について
- ・防災情報について
- ・新型コロナワクチン接種の対応について

宮田好夫

- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について
- ・国勢調査の速報値について

川上博司

- ・デジタル化と高齢者について
- ・GIGA スクール事業による不登校対策について
- ・生理用品の無償配布について

小林重樹

- ・高梁市の人口問題と将来のビジョンについて

平松久幸

- ・平成 30 年 7 月豪雨災害からの復興について
- ・令和 2 年国勢調査結果と定住施策について
- ・環境保全対策の推進と地域コミュニティ維持について
- ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の延長に係る支援策について

倉野嗣雄

- ・日本遺産について
- ・産業振興について
- ・道路管理について
- ・市長の政治姿勢について

川上修一

- ・旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」施設売却について
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市の考え方は

石田芳生

- ・成年年齢引き下げについて
- ・観光施策について

三村靖行

- ・企業誘致について
- ・ごみの減量化について
- ・公共交通について
- ・観光交流人口について

森上昌生

- ・高梁市の野良猫施策を問う
- ・備中町西山地区のピースワンコ・ジャパンの飼養シェルターのその後について

森 和之

- ・防災対策の強化について
- ・ごみの減量について
- ・市内在住の外国人について
- ・若者向けの定住住宅について

石部 誠 議員

基金を活用して国保税の引き下げを

観光課等（9人）の
移転問題について

石部 移転は本来なら計画を練り、条例で定め、予算を組み、契約を結び、執行すべき。直前の議会全員協議会や今議会にも提案や説明がなかった。観光協会からも総会資料にはなかったと聞いている。予算や契約がないままの執行は問題があると考えている。

副市長 事務執行の範囲で対応し予算は流用。契約はしていないが確認書を交わしている。観光協会のことは観光協会にお尋ねを。手続きは組織としては通常のやり方だと思っている。

国保税の引き下げを求める

石部 現在の約5億円の国保基金は加入者から国保税として集めた

ものであり、世帯当たり10万円をもため込んでいる。高すぎる国保税の引き下げに活用を。

健康福祉部長 新型コロナの影響など、さまざまな不透明要素を踏まえながら、安定的な運営と適正基金保有額を検討し、総合的に判断していく。

新型コロナについて

石部 コロナ禍での事業者への補助金や支援金制度。勤めている方の休業や時短での収入減の支援制度は、自分自身で請求できるが、制度の不理解などで支援が受けられない方がいる。対応は。

産業経済部長 労働者への休業支援全般はハローワーク、広報紙に支援一覧、社会福祉協議会の貸し付けも掲載。市、商工団体、金融機関に相談すれば案内できる。

金尾 恭士 議員

市外通学者へも通学定期補助を

定住につながる助成について

金尾 高梁市高校生バス通学費定期券補助について、備北バス以外へも拡充できないか。

市長 平成22年9月定例会で議論していただいた。公共交通維持が大きな課題で、市内の備北バスに限定した。公共交通会議の議論の状況を見極めていきたい。

金尾 西部地区に住む者として何とかしていただければ、これから高梁市のために頑張っていくという子ども達が育っていくのではないか。

市内5中学校のGIGAスクール構想の対応について

金尾 2・3年はWindowsタブレット、1年はiPadの2種類で学習している。混乱はないか。



教育長 2種類は、購入した目的と時期が違う。Windowsは、文科省の5カ年計画の導入で3人に1台。iPadはGIGAスクール構想に基づいて購入し、合わせて1人に1台となるよう整備した。

金尾 ある町では、Windowsに集約した学校と、iPadに集約した学校がある。早急な改善が必要ではないか。

教育長 さまざまな方法を考えた上で現在の方法にたどりついた。

福祉について

金尾 「ヤングケアラー」について市はどう定義しているのか。

健康福祉部長 明確な定義は設けていない。また、認知度は低い。概念の理解を深め、共通認識を図っていききたい。

※ヤングケアラー 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども。

宮田 好夫 議員

人口が5年間で2974人減、9.3%減となったが、新たな施策が必要ではないか

国勢調査の速報値について

宮田 令和2年国勢調査での人口が2万9101人と発表された。

市長はどのように受け止めたのか。

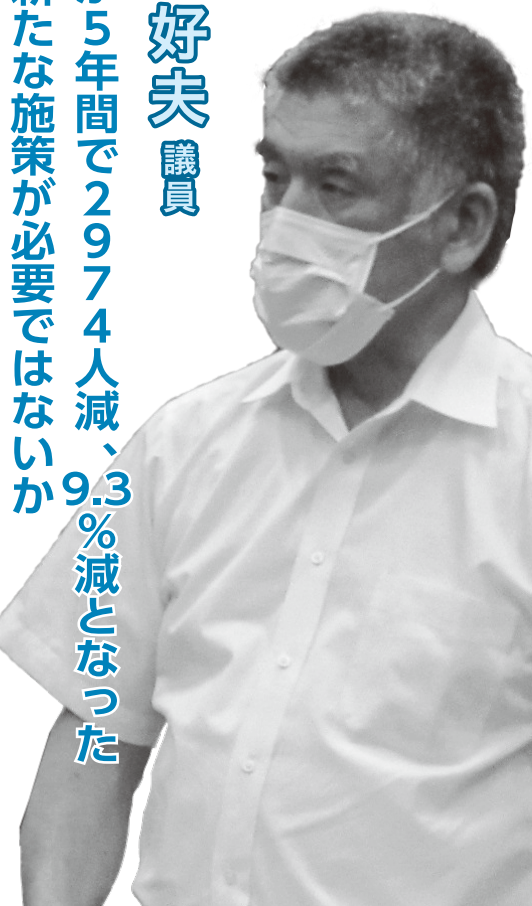
市長 人口ビジョンの想定は2万9378人であるので、厳しい数字である。

宮田 本市の移住・定住、子育て施策の優位性が薄れたのも、人口減の要因ではないか。

市長 全国的に見れば本市の施策の優位性はあるが、他市も同じような取り組みを進めてきている。

宮田 新たな移住・定住促進の施策が必要ではないか。

市長 新しい総合計画では30人以下学級や義務教育学校など、特色ある教育環境、医療・福祉の充実



や、高梁市で産み育てられる環境の模索、環境に優しい農業や儲かる農業などを計画している。



高梁市人口ビジョンより

川上博司 議員

生理用品を無償提供するべきではないか

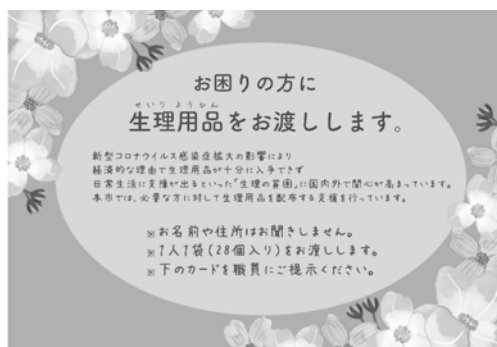
デジタル機器使用に支援を

川上 スマートフォンを始めとするデジタル機器に不慣れな高齢者に対し、デジタル化の恩恵を受けられるよう支援するべき。

市長 有漢地域において、地域おこし協力隊員がスマホ教室を開催している。総務省が実施する講習会は高梁市では今年度開催されないが、携帯電話会社が独自で行うと聞いている。デジタル技術の活用に関心の高い移住者や、吉備国際大学の教員らでつくる団体と連携してスマホ教室を開催すること検討していく。

生理用品の無償配布を

川上 経済的な理由で生理用品の用意が難しい方へ、生理用品を無



尼崎市の生理用品無償配布の案内

償提供すべきではないか
健康福祉部長 災害備蓄品などを活用し、市や社会福祉協議会の相談窓口で、経済的に困っている方に、無償提供していきたい。
川上 市内の小学校、中学校で生理用品を無償配布すべきではないか。
教育次長 保健室での提供に加えて女子トイレにも備えていきたい。

小林重樹 議員

1市2町で連携して人口減少に取り組むべき

高梁市の人口問題と
将来のビジョンについて

小林 県が公表した令和2年国勢調査結果によると、本市の人口減少率は9.3%で県内15市の中でトップであり、27市町村別では美咲町の9.5%に次いで2位、またお隣の吉備中央町は3位であり、岡山県中部真空地帯といわれている地域がワースト3を占めている。このことについて市はどのように思っているのか。また、1市2町が連携してこの課題に取り組んではどうか。

市長 雇用、住宅確保など共通してできることがあり、単独か共同でやるべきか、事務的な会議が必要と理解している。吉備中央町は

岡山県下 27 市町村の人口及び世帯数の減少率

人 口		世 帯 数	
1	美咲町 9.5%	1	久米南町 5.3%
2	高梁市 9.3%	2	美咲町 4.5%
3	吉備中央町 8.8%	3	高梁市 4.4%
3	笠岡市 8.8%	4	笠岡市 3.7%
5	新見市 8.3%	5	吉備中央町 2.9%
		5	備前市 2.9%

吉備高原都市で最先端技術を生かした行政サービスを目指す「スーパースティ構想」に名乗りを上げている。本市や美咲町にも波及効果があるとの認識を持つており、具体的な施策はこれからだが、事務方レベルでスケジュールを組んで取り組んでいきたい。

ハザードマップの周知の徹底を求める

平松 久幸 議員

阿部陸圃について

平松 県が改修した阿部陸圃の効果はどうなのか。

土木部長 溝の鉄板がなくなつたことで、閉鎖に要する時間が従来よりも約20分短縮できた。

平松 どの状況で閉鎖するのか。

土木部長 成羽観測所もしくは高梁観測所のどちらかでも氾濫危険水位を超えると県は陸圃閉鎖を行う。(成羽観測所4.4m、高梁観測所4.8m)

平松 閉鎖時の救急の対応は。

消防長 陸圃閉鎖準備の情報で、救急車1台と隊員3名を成羽地域局または落合地域市民センターへ派遣し、落合町、成羽町、川上町の救急対応を計画。同時に、落合地域市民センターへレスキューボートと隊員4名を派遣する。

ハザードマップについて

平松 新しいハザードマップはどのような視点で作成するのか。

政策監 令和2年度に改められた土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映する。浸水想定には、「河川整備において基本となるもの(L1)」と、「想定しうる最大規模のもの(L2)」の2種類がある。近年、災害が大規模化しているのでL2も考える必要があるが、現実的ではなく適切な避難行動につながらない恐れがあるため、L1で作成する予定である。

平松 市民にハザードマップの周知が必要。どのように周知するのか。

政策監 各戸に配布し、ネットでの配信も検討している。なお、本年6月1日に防災士、自主防災組織が連絡会を立ち上げた。連絡会の意見を伺い、作成していきたい。

※L1 河川整備において基本となる降雨。100年に1度程度を想定。

※L2 想定しうる最大規模の降雨。1000年に1度程度を想定。

倉野 嗣雄 議員

日本遺産について

倉野 日本遺産に認定された吹屋地区の今後の計画やあり方は。

副市長 吹屋の日本遺産認定は大きな価値を国が認めたということ、地域が愛着と誇りをもつて取り組みをしている事を支援していく。

倉野 総額で16億円もの投資をしている。国の交付税は削減される恐れもあるが経済的に大丈夫なのか。

副市長 財政計画を策定し事業展開している。市の財政力は低いが、日本遺産ならではの助成制度があり、地域を支援していく。

倉野 親水公園(旧吹屋小学校プール跡)に1億2千万円をも投入するが、コロナ禍で市民生活が疲弊しているときに必要なのか。

副市長 アフターコロナに対して準備を行うのも市の役目であり、

日本遺産への投資に見合った費用対効果を望む

ANAなどのアドバイザーの指導を受けて取り組んでいる。

産業振興について

倉野 高梁市の産業振興の重点は何か。現在の観光を考えると、特産品やお土産もない。泊まる所もなく、通過点だけならお金も落ちない。観光ブームもいつ終わるかわからないが、なぜ観光振興に力を入れるのか。

市長 市の地勢的条件を考えた時には基幹産業は農業である。出荷額を見ても第二次産業が一番多い。人口問題を考えると離農者も増えるが、新しい技術を活用し展開したい。

観光振興については、市には一級資産があり、コロナ禍で人の流れが減っている今のタイミングで、ある程度のものを作れば普通の生活が戻ってきたときに生かせると考える。

川上修一 議員

木質バイオマス発電施設には 周辺施設や住民へ十分な配慮を

旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」の
施設売却について

川上 旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」施設売却について。当初、土地は売却しないと言っていたが。

政策監 前回定期借地権としていたが、貸主有利な制度だった。借主に重荷になるということで、今回は売却とした。しかし、周辺スポーツ施設との調和を一定期間担保するために買い戻し特約を設けた。

川上 斎場やクリーンセンターの移転候補地ではないのか。

市長 周辺は候補地としてありうるかもしれないが、切り離して判

断した。今回が旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」を活用する最後のチャンスだと思っている。

川上 木質バイオマス発電施設は悪臭、汚泥、重機の騒音などが想定される。これらの問題を検討したのか。

政策監 企業誘致の観点から、立地協定書の中で担保したい。

川上 木質バイオマスの原料となる木材の調達は、県と市の森林計画に基づくのか。伐採後の植林には公費を使うのか。

政策監 公有林だけでなく民有林も含めて考える。植林は業者負担であり一切公費を投入しない。

石田芳生 議員

自粛で自由な意見交換や対話ができない時こそ 議会に対して十分な説明をすべき

今後の成人式について

石田 令和4年4月1日から成年年齢が18歳となる。今後の成人式はどのように考えているか。

教育次長 当事者となる高校生へアンケート調査の結果や、他の自治体の動向を見ながら、現行どおり、年度内に満20歳を迎える方を対象として実施することを検討している。

石田 市民の関心が高く、故郷高梁市に注目する大切な機会と捉えて取り組んでほしい。

観光施策について

石田 6月1日に観光課、日本遺産・歴まち推進室が駅前通りに移転し、一般社団法人高梁市観光協会と同じ事務所での業務を開始し

た。高梁市の一体的な観光や街の賑わいに関わることである。なぜ当初予算に計上し、議会に説明しなかったのか。

副市長 3月議会には間に合わなかった。高梁市の観光に大きく寄与することであるので予算の流用で対応した。

石田 単なる事務所移転ではない。コロナ禍で自粛要請があるため自由な意見交換や対話ができない。このようなときこそ、まちづくりや重要な観光施策について、執行部は市民の代表たる議会に説明すべきではないのか。

副市長 十分ご理解がいただけないまま、事務執行上ということだけで片付けてしまったことは申し訳ない。これからも丁寧な説明を心がける。

三村靖行 議員

企業誘致について

三村 高梁市は急速に人口減少が進んでいる。地域人口を少しでも維持するため、若者流出を防ぐ手段として企業誘致を市の主要施策として、新しい課を設置し、職員を増員して進めるべきではないか。

市長 企業誘致には、研究施設や製造業などの誘致があるが、若者が就職で希望の職種がないということもある。今後、誘致施策を総合的に調整し、産業振興課の中で体制を整えていきたい。

ゴミの減量化について

三村 人口は減少しても家庭ごみは減らない。資源ごみと分別できないのであれば、ごみ袋へ名前を記入する制度にしてはどうか。

市民生活部長 記名にはメリット、デメリットがある。今後、有料化

人口減少の打開策として 企業誘致をメイン施策に

や事業者手数料の値上げなどの検討をしていく中で研究する。

公共交通について

三村 多額の費用が投入されているが、効果が表れてない。利用率が低いのは料金と出発時間が原因。変更できないのか。

市民生活部長 地域の要望に応えられる環境が整えば、それに応えていきたい。

観光交流人口について

三村 吹屋地区へ通じる高梁坂本線が未改良である。早く改良に着手するべきではないか。

土木部長 毎年県に要望を行ない、現在2カ所で改良が行われている。

三村 神原荘の今後の利用は。

産業経済部長 旧「朝霧温泉ゆ・ら・ら」の事業者が決定したら、その後協議を行う。

森上昌生 議員

市内各所に 猫に関する看板があるが 被害軽減の効果はあったのか

森上 広報活動だけで、野良猫が減るとは思わない。飼養者のモラル向上は期待できても、今いる野良猫は誰が責任を持つわけではないので減ることはないのでは。

市民生活部長 無責任な餌やりに対するモラルの向上を図る。

森上 野良猫は統計上4年から5年は生きると言われている。その間にかかなりの回数で、妊娠を繰り返すが、餌をやらないことで、野良猫が減るのか。

市民生活部長 野良猫に餌をやるということで、野良猫が減るという科学的なエビデンスはない。餌を与えることで妊娠の機会を促すということも考えられるので、まず

市は野良猫問題に 積極的に関わるべきでは

は飼育マナーの向上を図る。

森上 野良猫に餌をやるなどという文言は、TNR活動の妨げともなる。TNR活動は実際に野良猫を減らす非常に有効な方法だ。市はTNRを実施する予定はあるのか。

市民生活部長 この活動は市民が主導されて、地域の合意を得て行われることが重要と考え、市民活動として継続してほしい。

森上 TNRと地域猫活動を勘違いしていないか。

ピースワンコ・ジャパンの その後について

森上 西山犬舎の飼養状況は。

市民生活部長 情報公開及び個人情報保護審査会に諮問された案件で係争中のため、公平性を期して答えを控えたい。

森 和之 議員

高梁雨水ポンプ場
整備事業について

森 高梁雨水ポンプ場に設置される4号機ポンプは、設置を完了しているのか。

土木部長 今年の出水期に設置完了しているのが望ましかったのだが、事業費も大きい工事のため令和3年度内になった。ご理解いただきたい。

森 令和3年度完成と聞けば、被害にあった住人は、出水期までには設置されるだろうと思っていたはず。1日も早い4号機ポンプの設置を強く要望する。

森 この4号機ポンプの設置により、高梁市街地の浸水は軽減されるのか。

土木部長 排出能力が1.5倍になり、十分排出できると思う。

市民に不安を抱かせない 市街地の防災を

新消防庁舎
整備事業について

森 住民への説明は十分に行われているのか。

消防長 建設地に関係する2つの町内会に相談したところ、コロナ禍を憂慮して文書での説明を希望された。全戸に説明資料を配布している。今後も事業の進捗状況に合わせて説明を行っていく。

森 建設地は内水や外水による浸水も想定されるが、改善の予定はあるのか。

消防長 高梁川からの外水の流入、内水排除については、河川整備計画の中で協議が行われるものだと思う。

森 消防機能を優先する設計は間違っていないが、浸水のあった地域の安心と安全が得られるように、河川整備計画の中で、しっかりと協議することを要望する。

TOPICS

産業経済委員会 管内行政視察

岡山自動車道付加車線設置工事（4車線化工事）に伴う 盛土場整備工事視察

4月22日、産業経済委員会が、岡山自動車道付加車線設置工事（4車線化工事）及び同工事に伴い、市が整備している盛土場の進捗状況等を視察しました。

岡山自動車道の付加車線設置工事については、対面通行となつて

いる賀陽インターチェンジから北房ジャンクションまでの21・3kmの区間で、順次4車線化に向けた工事が進んでいます。今年3月には全線で4車線化になることが決定されましたが、既に賀陽インターチェンジの北2kmや高梁サービスエリアの北2.7kmでは4車線での運用を始めています。

なお、現在、有漢トンネル付近の工事を行っており、残りの区間を含め全線で4車線化工事が完了するには、さらに10年程度を要する見込みです。

また、この工事による発生土の処理については、市が事業主体となり、有漢町内8カ所に盛土場を

整備しています。このうち、大塚盛土場は約16万㎡の土を受け入れることができ、この日も大型ダンンプによる搬入が行われており、安全に十分配慮した工事が行われていました。

岡山自動車道の完全4車線化が実現すると、物流や観光客等の大幅な増加が見込まれるとともに、通行時の安全性の向上、早期交通機能の確保等が図られます。議会としても、山陽と山陰を結ぶ重要な路線として、早期完成を要望していかなければなりません。



整備された上大谷盛土場

9月の定例会スケジュール

9/3	金	本会議（議案の上程）
9/9	木	本会議（一般質問）
9/10	金	本会議（一般質問）
9/13	月	本会議（一般質問）
9/14	火	本会議（議案質疑）
9/15	水	委員会
9/16	木	委員会
9/17	金	委員会
9/24	金	採決

※9月定例会への請願・陳情の締め切りは8月26日末までです

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！ 有権者が求めることも 禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編 集

議会広報公聴特別委員会

委員長	伊藤泰樹
副委員長	森 和之
委員	石部 誠
委員	石田芳生
委員	石井聡美
委員	金尾恭士
委員	新倉 淳
委員	平松久幸



Come, Come, Everybody

終戦直後のNHKラジオ放送で人気だった、高梁市出身の平川唯一氏の語学番組をテーマとしたNHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」が今秋から放映されます。

平川氏は明治35年津川町の農家に生まれ、大正7年に父を追って渡米し、苦学の末にワシントン大学を卒業しています。昭和11年に帰国しNHK国際放送のチーフアナウンサーとなり、昭和20年の玉音放送を英訳し国際放送で朗読しています。昭和21年からNHKラジオで午後6時から15分間の英語会話講座（カムカム英語）を5年間担当し、そ

の後民間放送で英語会話教室を放送しています。

平川氏の故郷である津川町では、平成16年に「木野山カムカム公園」を整備しています。今秋の朝ドラ放映を契機に、市内の外国人と地域住民や子ども達とのふれあいや、平川氏を顕彰する事業に取り組みを始めています。



※玉音放送…天皇の肉声（玉音）を放送すること。特に昭和20年に太平洋戦争の降伏を全国に伝えた昭和天皇の放送を指すことが多い。

今号の表紙

高梁城南高校の
ワークショップ

今回の表紙は、高梁城南高校の生徒が企画・開催しているワークショップ「延長コード製作」の様子です。

会場となっているポルカ天満屋ハピータウンでは、地域の飲食店と共同開発したスイーツや飲み物を楽しめる「Jona Cafe」も同日にオープンしています。



黒米ロールケーキと
さんじゅーろーのラテアート

<http://www.jonan.okayama-c.ed.jp/>

「面白くない議会だより」

議会だよりの編集作業を行っていた時のこと、同僚議員から「先日、知り合いから議会だよりが読み応えがないと言われた。」との話あり。この知り合いの方は、読んだうえで面白くないと思われたわけで「本当に関心がない方、読まない方は、声もかけてくれんな」と慰めのような話に。

議会だよりは議会での事をお知らせするのはもちろんですが、市民と議会をつなぐ役割もあります。皆さんの興味や関心があることや、また議会から知っていたきたい事を、決められたページ数の中に凝縮する作業を、8人の広報委員を中心に行っています。今回の議会だよりはいかがでしようか？皆さんのご意見やご要望をぜひお寄せください。（石部 誠）